

2019 年度 ロシア留学報告書

留学先：ウラジオストク国立経済サービス大学

留学期間：9月9日(月)～12月30日(月)

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号 21018052
篠田 夏

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
4-1	留学のスケジュール	4
4-2	留学先大学の授業の時間割	5
4-3	時間割の詳細	6, 7
5	当初目的・目標への達成度	8
6	反省・課題	8
	謝辞	8
	付録：研修日誌	9～21

1 留学先及び実習期間

留学先: ウラジオストク国立経済サービス大学

留学期間: 9月9日(月)～12月30日(月)

2 留学先概要

(1) 大学について

ウラジオストク国立経済サービス大学(以下、「^ヴΓ^グΥ^エΘ^ス」という)は、ウラジオストク市内の中心部に位置し、その歴史は1967年に遡る。当時のソ連政府がサービス業に従事する職員を育成しようと、設立したのがBΓΥΘCの始まりである。2017年9月に創立50周年を迎え、ロシア国内にとどまらず世界中に述べ5万人を超える学士、修士、博士を輩出した。また、アジア圏の留学生の多さも特徴の一つである。

(2) 大学で行われている教育について

BΓΥΘCは経済学、観光、デザイン、経営、工学と国際研究が学べる。同校は2009年にロシア連邦省から教育管理システムを評価されて表彰されており、ウラジオストクにおける最高水準の教育機関である。

3 留学目的

この留学の目的は2つある。

1つは、「語学力の向上」だ。入学前の1年間では、授業以外でロシア語と接する機会は少なく、リスニングやスピーキング能力は全くと言っていいほど向上しなかった。4か月の期間の中で、授業、日常会話を通してあらゆるロシア語の要素を吸収し、実践できるのではないかと考えた。

もう1つは、「コミュニケーション能力の向上」である。異国の地で、外国人、同僚の日本人と協調性を持ちながら生活することが求められる環境で、怖がらずに積極的な行動を起こすことが自分の成長につながると考えた。

4 留学内容

以下に留学の内容を記載する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 留学のスケジュール

月	日	スケジュール
9	10(火)	学生証発行手続きの後、市内観光。
	11(水)	クラス分けテスト
	12(木)	健康診断
	13(金)	鷲の巣展望台へバスに乗って行き観光。
	16(月)	授業開始
	19(木)	市内の公園、チョコレート屋さんに行く
	22(日)	韓国人の留学生と居酒屋で夕食を食べる。
	25(水)	授業なし。サナトルナヤ駅近くの公園でレクリエーション。
	29(日)	ロシア「虎の日」。虎の保護を訴えるパレードに参加。
10	5(土)	オケアン映画館で「JOKER」を鑑賞。
	12(土)	サーカスを鑑賞。
	24(木)	ロシア人学生向けに日本文化の紹介、市内観光。
11	2(土)	オケアナリウム水族館で観光。
12	11(水)	マリンスキー劇場で交響曲の演奏を鑑賞。
	23(月)	文法、長文読解、歴史のテスト
	24(火)	リスニング、会話、美術のテスト
	25(水)	極東地理のテスト
	26(木)	音楽のテスト、クリスマス会
	30(日)	帰国。

4-2 留学先大学の授業の時間割

	月	火	水	木	金
1 限 8:30 ~ 10:00	Лексика и грамматика(文法)	Аудирование (リスニング)	Лексика и грамматика (文法)	Аудирование (リスニング)	
2 限 10:10 ~ 11:40	Чтение текстов (長文読解)	Разговорный русский язык(会話)	Чтение текстов (長文読解)	Разговорный русский язык(会話)	Беседы по Истории (ロシア史)
3 限 11:50 ~ 13:20					
4 限 13:30 ~ 15:00	Беседы по Истории (ロシア史)	Основы ИЗО (美術)	Российский ДВ (極東地理)	Русские народные инструменты (音楽)	Лексика и грамматика (文法)

4-3 時間割の詳細

■Лексика и грамматика(文法)

授業では、格変化を中心に学んだ。格はロシア語で「подеж」と呼ばれ、Подеж1(主格)、подеж2(生格)、подеж3(与格)、подеж4(対格)、Подеж5(造格)、подеж6(前置格)の6種類あるため、入学前に授業や教科書であらかじめ変化表などを覚えておくことが望ましい。

授業ではまず подеж4 から学んだが、形容詞の格変化、複数形の格変化を覚えるのに一苦労した。テストは、授業で習った6項目の格変化を用いて10文程度の文章の作文を行う。

■Чтение текстов(長文読解)

毎回2つか3つの長文を授業内で読んだ。分量はそこまで多くないが、長文の表現を利用して自分のことに置き換えて表現する課題もあり、慣れるまで苦労した。

テストは、自分の家族のことについての文章についてプリントを参考にしながら作成し、覚えて先生の前で発表する。

■Беседы по Истории(ロシア史)

授業では10世紀末から15世紀末までの歴史上で活躍した人物について学習した。

授業の前に配られたプリントを和訳し、問題に答える作業が必要で、1時間以上の学習時間を必要とした。他の授業では習わない単語が頻出するため、音読するときには支障がないように単語のアクセントを辞書で調べてプリントにメモすることが望ましい。授業が進むと文章の要約も行う。

初めの2週間は先生が何を言っているのかよく理解できなかったが、10月に入ると歴史背景を抑えることで徐々に先生の説明が理解できるようになった。

テストは、ピョートル大帝の生涯についてパワーポイントを使って発表した。その際、インターネットを使って調べても構わない。

■Аудирование(リスニング)

授業は、音声を聞き教科書の穴埋めを埋めたり、問題に答えたりすることが主な内容であった。レッスンごとに新出単語が教科書に記載されているため、レッスン終了時に単語テストを行う。教科書の文章を音読して耳をロシア語に慣らすことが望ましい。

テストは、コンピューター教室で行われ、ヘッドホンをつけて自身で音声ファイルを再生し、問題を解いた。何度も音声を再生することができた。

■Разговорный русский язык(会話表現)

授業では、2週間くらいかけて1つの題材を学習し、それに関連する会話表現を覚えた。題材は、家族、道案内、病院、食事、買い物、体などであった。数詞の格変化を覚えるのに苦労した。

テストでは、授業で扱ったテーマの中から、2人1組となってランダムに選んだテーマについて2人で先生の前で会話することであった。

■Основы ИЗО(美術)

授業では、ロシアのコスチューム、陶芸、хохлома(ホフロマ塗り)、гжель(グジェリ焼き)、風景画などを学んだ。実際は前半で美術について学んだ後、絵を書いたり塗ったり作ったりすることが多く、とても楽しい授業であった。

テストでは、絵画の題名を見て作者を答える問題や、「風景画とは何か」など、授業で習ったテーマについての説明問題が出題された。

■Российский Дв(極東地理)

主に極東ロシアの自然、気候、資源、動物について学んだ。授業毎にプリントが配られ、次の授業までに単語のアクセントを調べ、プリントの問題に答えておく。授業では、文章の音読、文章についての説明問題に取り組む。

テストは、授業で習った全範囲から出題された。主に授業で習った重要単語の説明、ロシアの四季についての説明などである。

■Русские народные инструменты(音楽)

ロシアの歌である「подмосковные Вечера」や「катюша」などの有名な曲を毎時間歌った。ロシアの伝統的な楽器や作曲家についても学んだ。

テストでは「作曲家とは何か」「合唱とは何か」などを説明する問題から、ロシアの有名な作曲家についての質問も出題された。また、授業で扱った6つの歌を全員で歌った。

5 当初目的・目標の達成度

最大の目標は「語学力の向上」であったが、留学前に比べ、目覚ましい成長を遂げることができたと確信している。リスニングについては、授業中はもちろん、自習や現地のロシア人との交流によって飛躍的に向上したとあっていい。日常会話についても、質問されたらシームレスにロシア語で答えられるレベルまで向上した。長い文章にも、文法知識を駆使しながら正しく読解できるようになった。授業終わりや週末にはウラジオストクの様々な名所に出向き、また他国の留学生とも積極的に交流することができ、コミュニケーション能力

もアップした。様々な文化、教養が身につき、とても充実した留学生活であったと自負している。

6 反省・課題

文法や単語を十分に覚えぬまま出発したため、序盤の授業では苦勞した。また、毎日の課題をその日のうちにこなせない日があり、授業までに宿題を終わらせられないという最悪な状況に陥ったことも何度かあった。その結果、精神的にストレスがかかり、授業を休む日が増えてしまった。寮での生活、時間配分、体調管理が不十分であったのが原因である。授業で特別苦勞することは無く、会話でも傷つくことは無かったので、日々の生活にも緊張感をもって、自己管理することが必要である。

謝辞

この度は、我々の留学を受け入れて下さったウラジオストク国立経済サービス大学の皆様、我々にロシア語を指導して下さった先生方、その他お世話になった先生方には心から感謝申し上げます。また、留学前の事前研修や留学中にもお世話になった神長先生とブラーソル先生、そして3.4年生の先輩方、留学手続きでお世話になった学務課の方々、留学のために奨学金を授与して下さった関係者の皆様、我々の学生生活をサポートして下さった現地の留学生の皆様、大学関係者の皆様にも、重ねて感謝申し上げます。

付録 留学日誌

■9月9日(月)出発日&到着日

13:05(日本時間)に成田空港を出発した。16:30(以下、現地時間で記す)にウラジオストク国際空港に到着し、まず入国審査を受けた。審査終了後、搭乗口の外にいらっしゃるブラーソル先生と合流した。そして、空港の目の前に停車している B Γ Y Э C のバスに乗り、40分かけて大学の寮へ向かった。

寮に到着してからは、事前に決めた部屋割りが発表され、日本人6人は全員2人3組に分かれてそれぞれの部屋に向かった。私達男性陣は先輩方が残してくれたハンガーなどの道具を寮に運んだ。

寮に荷物を置いたあと、寮から徒歩10分の「РЕМИ」(24時間営業)に向かい、ブラーソル先生から買い物の手ほどきを受けた。家庭用の大きなパンの取り方などを学んだ。

寮に帰宅したのは20:30頃であった。



■9月11日(水)

この日は留学生向けに校内や授業についての説明を受けた後、午後は日本人学生だけで市内を観光した。向かったのは大学から徒歩10分のスポーツジムで、トランポリンで汗を流した。学生証が発行されるまでは紙の仮学生証を使うことになった。



■9月12日(木)

この日は夕食を兼ねて同じ寮に住む韓国人の留学生の方々と交流会を行った。ソンさん、スジンさんという方々は日本語が堪能で、その後の留学生活において非常に大きな力になってくれた。日本人が怖いというイメージを持っていたキムさんは、この日を境にイメージが180°変わったようだ。



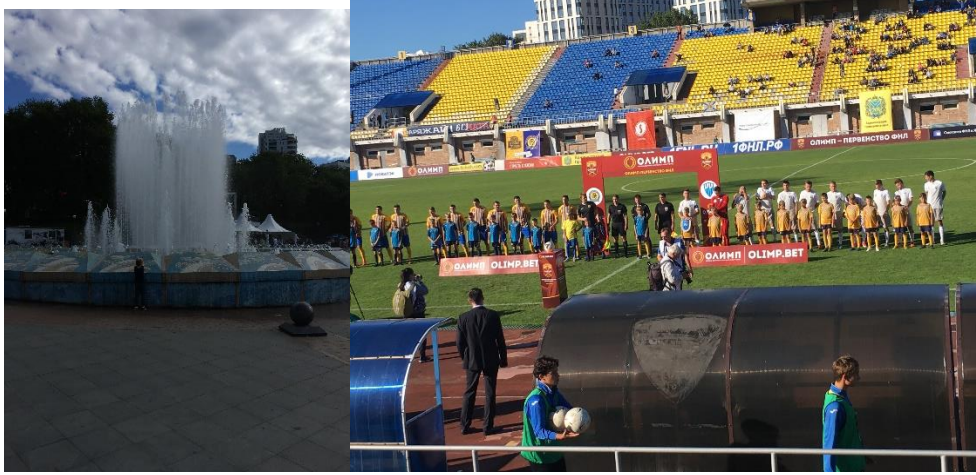
■9月13日(金)

この日は日本人留学生で鷲の巣展望台まで歩いて観光を行った。この展望台ではウラジオストック全体を一望でき、絶景という言葉がふさわしいものであった。



■9月14日(土)

この日は各自自由行動で、私は中心街のスポーツ湾という所に行って噴水を鑑賞した。その後、隣接してあるディナモスタジアムで「FCルチ・ウラジオストク」というロシア2部のサッカーチームのリーグ戦を観戦した。チケット売り場が分からず、現地の人に聞いたら教えてくれた。海のすぐ隣という訳で強風に煽られ、ボールの行方が予測できないのが衝撃的だった。

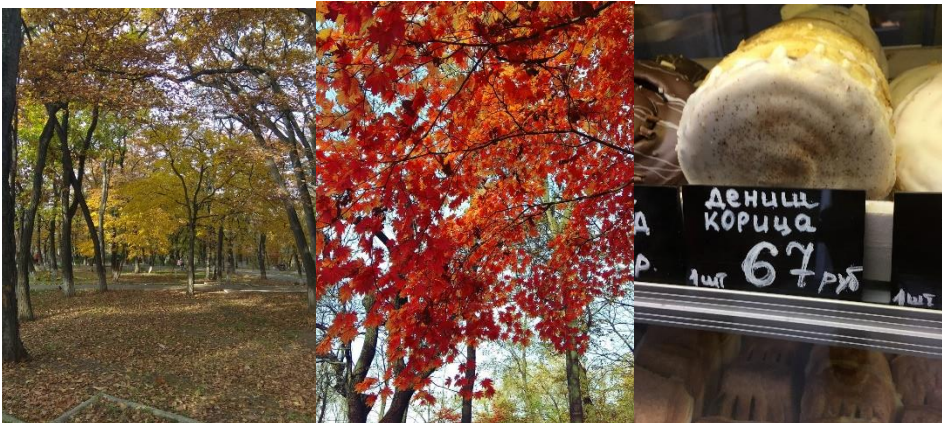


■9月16日(月)

授業が始まった。初めての授業はみんなとても緊張していたが、韓国人のクラスメイトの方々が話しかけて下さり、とてもフレンドリーな雰囲気の中で授業は進んだ。初日は自己紹介の方法を学んだ。

■9月19日(木)

この日は音楽の授業の時間を利用して、音楽の先生と一緒に市内の公園を散策した。紅葉の季節だったので非常に美しいものだった。その後、名物のチョコレート屋さんに行き、ドーナツを買って食べた。



■9月21日(土)

この日は日本語を学んでいるロシア人学生2人と市内を観光した。日本人が経営している本格ラーメン店でキムチラーメンを食べた。店内では日本のアニメが放映されていて、ロシアでの日本アニメの認知度は非常に高いことが分かった。その後、アニメやマンガのグッズショップに向かい、デスノートと進撃の巨人のロシア語版を買った。残念ながらジョジョはロシアで発行されていなかった。



■9月22日(日)

この日はソンさんの紹介でロシア人や韓国人の墓地を訪問した。戦争の歴史と重ね合わせると興味深い発見があった。その後、市内で観光案内のアルバイトをしている韓国の留学生の方と一緒に日本人居酒屋で夕食を食べた。ここで初めてビールを飲んだ。ロシア語の勉強方法などを教えてもらった。



■9月25日(水)

この日は授業がなく、代わりに留学生全員(韓国、中国、ベトナム)とロシア人のリーダーと一緒にサナトルヤ駅までピクニックに行った。初めて電車に乗った。ロシア人学生がレクリエーションを企画してくれて、海のラフティング体験も行った。中国人の友達が増え、充実した一日となった。



■9月29日(日)

毎年9月の最終日曜日はロシアでは「トラの日」と呼ばれ、虎保護を訴える1日となっている。虎の仮装をした人々がパレードを行い、我々も参加した。数万人が参加するほど大規模なイベントであり、チャリティーライブも開催された。



■10月5日(土)

この日は韓国人の方と一緒にオケアン映画館で「JOKER」のロシア語版を鑑賞した。ホアキンフェリックスの怪演は言葉の壁を越えて我々にも伝わり、現地のロシア人はホアキンの演技に一喜一憂し、感情を素直に表現していた。これは日本にはない国民性だと感じた。



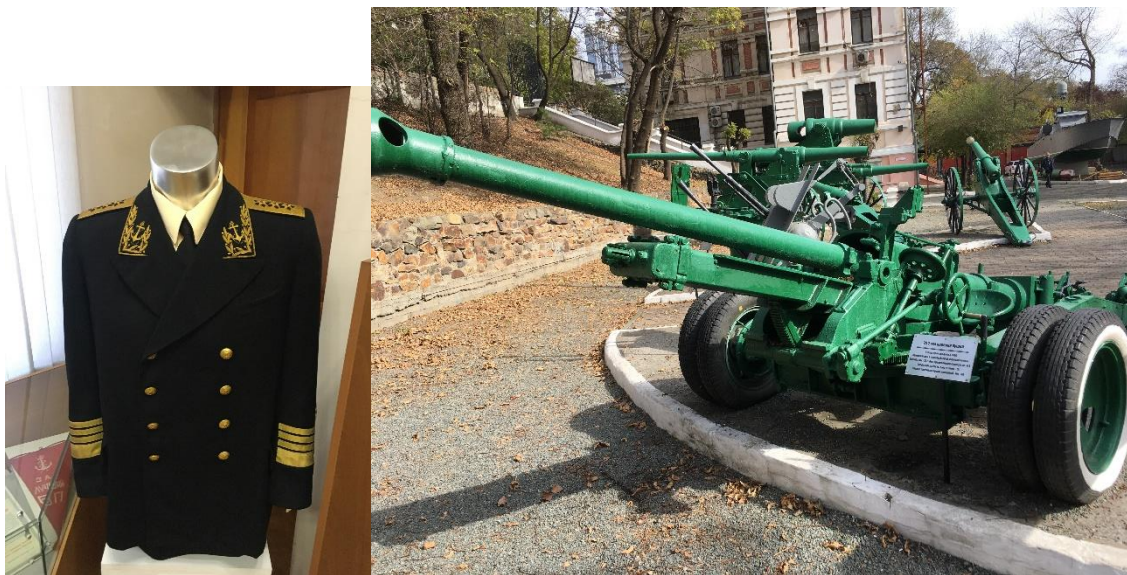
■10月12日(土)

この日は中国人の留学生と一緒にサーカスを鑑賞した。観客参加型のステージで、演者に指名された人は音楽に合わせて歌を歌うフリをしたり、動物を操ったりなど、非日常的な空間を楽しんだ。



■10月19日(土)

今後のロシア史学習の資料として、市内中心部にある日露戦争に関する歴史博物館を訪問した。外には当時使用された潜水艦や大砲を見ることができる。当時の貴重な制服や、戦争時の集合写真など、貴重な写真を見ることができた。



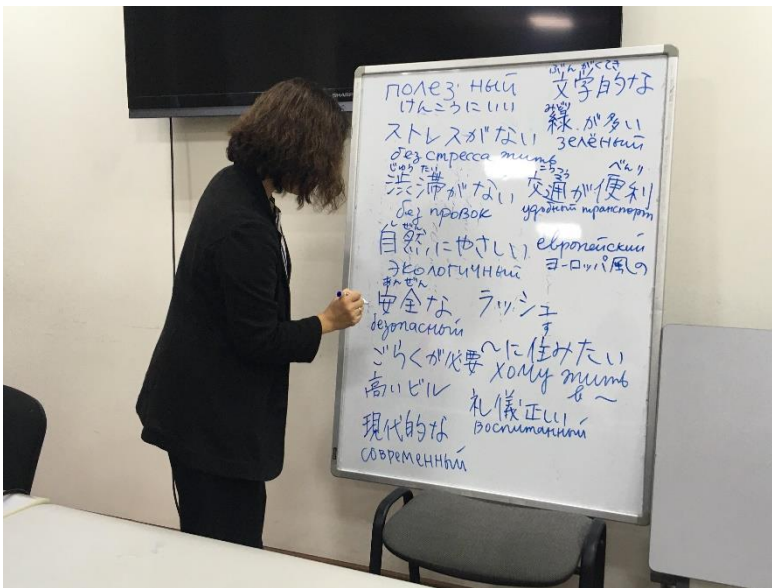
■10月24日(木)

日本語を学んでいるロシア人に向けて、新潟と日本の文化を発表する交流会が行われた。新潟の名物、自然などパワーポイントを使い全員で発表し、私個人では Perfume について紹介した。その後、折り紙や日本語の早口言葉をレクチャーした。彼らの中には今年の冬に新大に留学する人もいて、彼には新潟の美味しいお店を教えてあげた。



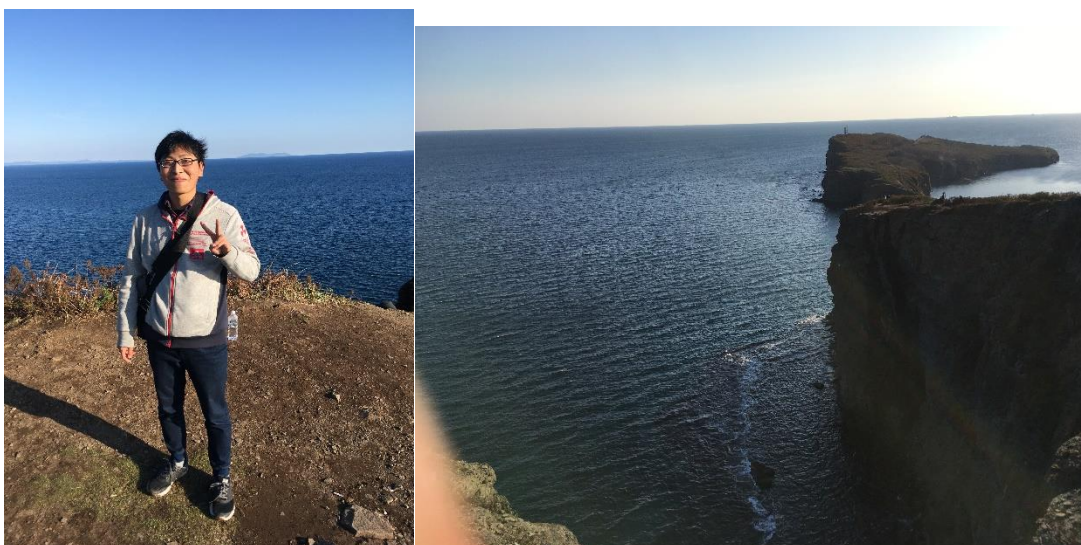
■10月25日(金)

ルームメイトの高橋君の紹介で、極東連邦大学の日本人留学生や、日本語を学んでいるロシア人が集まって日本語とロシア語を学ぶ「日本センター」の集会に参加した。毎週金曜の夕方に行われていて、この日は東京とウラジオストクの印象についてそれぞれロシア語、日本語の形容詞を使って表現した。日本語とロシア語を交互に学べて、非常に相互効果のある学習だと実感した。その場で太宰治が好きなロシア人女性と出会い、意気投合した。宇多田ヒカルがロシアでは有名だと知り、とても嬉しくもあり誇らしかった。



■10月27日(日)

韓国人留学生とバスで隣町のルースキー島へ観光に行った。ウラジオストクとはまた違い、山や海が美しく、空気が澄んでいて。その後、韓国料理屋に行きビビンバを食べた。



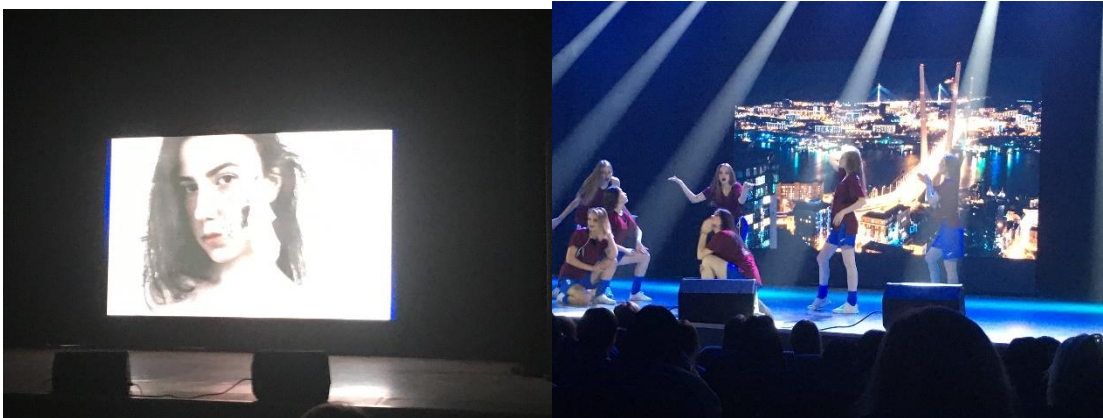
■10月30日(水)

英会話サークルにてハロウィンパーティを行った。ロシアでも仮装の文化は健在で、この日はハロウィンがなぜ生まれたのか、VTRを見て理解した。その後クイズを行い、正解した人からお菓子を食えることができた。



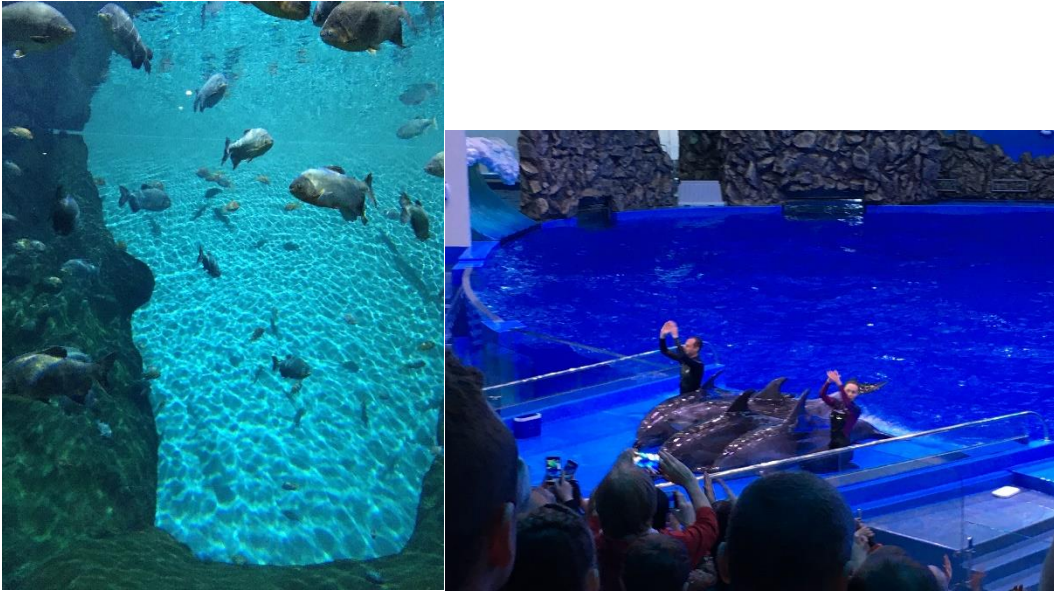
■10月31日(木)

大学入り口近くにあるステージ「UNDER GROUND」で学生によるパフォーマンス会が開かれた。DJのプレイから開幕し、ダンス、ソロ歌唱、スライドショーなど多岐にわたるパフォーマンスを鑑賞した。同世代が活躍している姿を見て刺激をもらった。



■11月2日(土)

会話サークルで知り合ったキリル、コスチャのロシア人学生 2 人の案内でオケアナリウム水族館へ行った。イルカショーあり、恐竜の模型あり、水族館の面積が日本と比較しても桁違いに広く、自然と生き物は共存していることを強調しているようだった。



■11月4日(月)

休日のため、キリル、コスチャの案内でトカレフスキー灯台へ向かった。寒さが陰しくなってきた時期だったが、灯台と海のコントラストは美しく、ロシア人の2人とも親睦を深めた。



■11月7日(木)

リスニングと会話の授業内で料理をテーマに学習していたので、その総まとめとしてクラス全員で協力してボルシチを作った。韓国人学生が率先して動いてくれて、スムーズに料理ができた。ロシアではマヨネーズをスープにかけるのが文化だと知り驚いた。



■12月11日(水)

マリンスキー劇場でイタリアの交響楽団によるチャイコフスキーの楽曲をテーマにした演奏会を鑑賞した。生で鑑賞するのが初めてだったため、感無量であった。服装はスーツや黒い服などドレスコードが指定されている。



■12月23日(月)

文法、長文読解、ロシア史のテストが実施された。

■12月24日(火)

リスニング、会話、美術のテストが実施された。

■12月25日(水)

極東地理のテストが実施された。

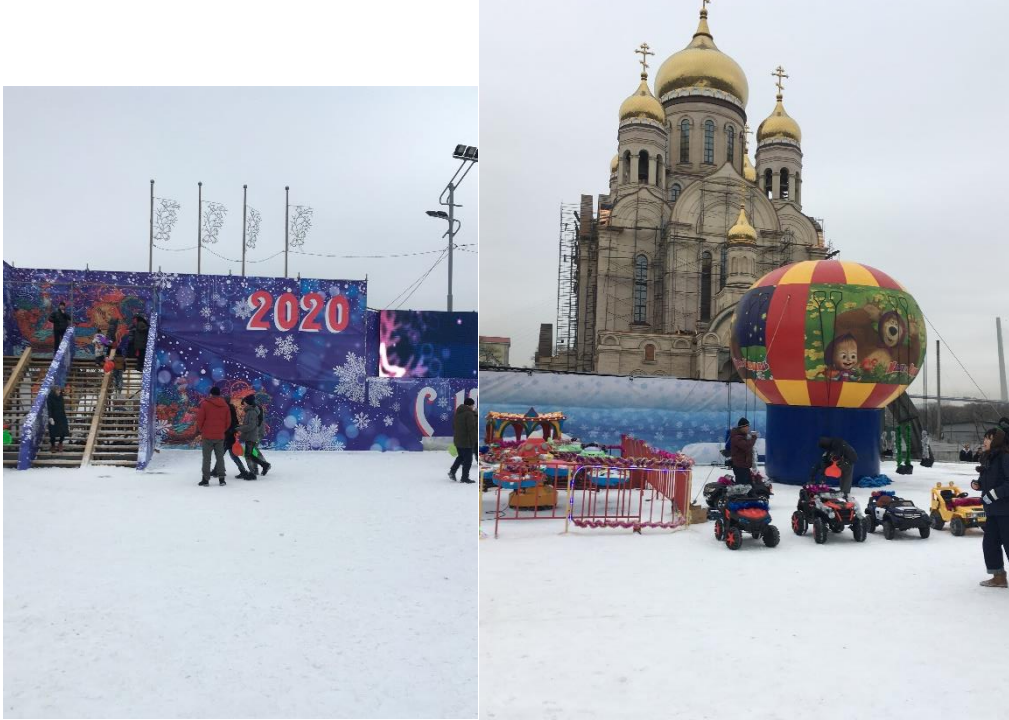
■12月26日(木)

リスニング、会話の最後の授業。この時間を利用して、4か月の留学を振り返るクリスマス会が開催された。それぞれが思い出を語っていくが、最後の授業ということもあり涙が溢れた感動的な会となった。4限には音楽の授業が実施され、最後は全員でこれまで学んだロシアの代表的な6曲を涙ながらに歌った。



■12月29日(日)

中心部にある観光客向けのお土産屋さんで家族や友達のためにマトリョーシカなどの土産を購入した。以前音楽の授業で訪問したチョコレート屋さんでは、お酒が入っているチョコレートを大人向けとして購入した。中心部では雪まつりが行われていた。



■12月30日(月)

いよいよ帰国の日を迎えた。朝7時という早い時間に寮を出なければならなかったが、ソンさんがお見送りに来てくれた。また、空港の搭乗手続きまではコスチャやキリルが手助けしてくれた。入国時よりも荷物は増えたが超過料金は払わずに済んだ。

成田空港到着後、留学前に予約したジャンボタクシーで家へ帰宅。